

新発売 OSE シリーズ以上の音質の仕上りに加え、特別価格を実現

AB SA12 Master

Final Version

希望小売価格 ¥364,000(税別)

**(高音質電源ケーブル AIRBOW KDK-OFC/2.0m 付属、
アルミ削り出し専用脚部装着)**



**SA12が搭載するオリジナルDACの能力を解放、クラスを超える音質を実現
SA10同等のDACを搭載するSA12の潜在能力を解き放つ**

SA12最大のトピックスは、上級モデルSA10と同じ「marantz オリジナルDAC」を搭載したことです。オリジナルDACがなぜ良いのかと言えば、音質の要となる「デジタルフィルターのプログラム」と「アナログ回路」の設計が自由になるからです。デジタルフィルターの設計はともかくとして、市販のDACチップは、コスト的に「サイズを大きくできない」、「消費電力を小さくしなければならない」などの制約が多く、また最近のDACはサラウンドユーズを前提に「多チャンネル(8chが多い)」で作られています。しかし小型化・多チャンネル化で問題となるのが「DACから出力される電流値が小さくなる」ことです。

DACの多くは「音楽信号を電流の強弱に変えて出力(電流出力)」するのですが、最新DACではその出力電流が僅かに「数ミリアンペア」、多くとも「10ミリアンペア」程度でしかありません。しかもそれは「最大音量時」なので、実際に出力される電流はそれよりも遙かに小さい「マイクロアンペア以下」でしかありません。これほど電流が小さいと、僅かな距離の伝達でも電流変動が伝わりにくくなるため、小さな音が正確に伝送できずに消えてしまうのです。DACチップのスペックが同じでも「低価格の音が悪い」のは、DACの出力電流変化を音質に変換するための回路の「感度が不十分」だからです。もちろん、高級オーディオ機器が採用する「高度なアナログ回路」なら、音質ロスはとても小さくなっていますが、それでも僅かな情報のロスさえ人間は聴き分けてしまうからやっかいなのです。

PioneerのCDプレーヤーは、この8chを束ねて1ch(モノラル)として各チャンネルに一つのチップを使うなどの方法で高音質化を計っていますが、SA12が搭載するmarantzのオリジナルDACでは、それらよりも遙かに大きな電流で音声信号を出力できるように設計されています。AIRBOW SA12 Masterでは、クラスを遙かに超えた能力を秘めるSA12の音質を限界まで高めるために、従来手を入れることがなかった「メカニズム部」まで含めオリジナルから「約100箇所」に及ぶ改良を加えています。繊細な回路のパーツを一つずつ交換する作業は高難度で、熟練工が一日がかりの作業になります。交換パーツの価格も非常に高価なため、改造コストが嵩み販売価格もそれなりに高くなっていますが、音質はその価格すら大きく上回るレベルに達し、各社100万円クラスのCDプレーヤーに匹敵する水準に達したと自負しています。

SA10 Ultimateに匹敵する細やかさと広がり、小音量でも音痩せしない低域の表現を実現しました

約100箇所に達する大幅な改良が施されたAIRBOW SA12 Masterが「馴染む」までには、少し時間がかかります。電源投入当初は、もしかすると40万円という「価格なり」程度の音質に感じられるかもしれません。しかし、約100時間の鳴らし込み(エイジング)を終えると、AIRBOW SA12 Masterは徐々にその真価を発揮し始めます。

エイジングが完了した状態で「お気に入りのCD」を聴いてみて下さい。「SACD」よりも音が細やかに聴こえることに驚かれると思います。滑らかさも抜群。CDには「まだこんなに細やかな音が入っていた」ことに気づくでしょう。大編成のクラシックでは、広大な音場の広がりや豊かな立体感。音が重なるハーモニーの緻密さに驚かれることでしょう。ウッドベースやドラムス、シンセサイザーの低音が入った曲を聴いてみて下さい。下手なセパレートCDプレーヤーを超えるほど厚く、豊かな低音の量感に驚かれると思います。ロックやフュージョン、ポップスの力強い躍動感に驚かれることでしょう。そして音量を下げたときにも、その再現能力は一切陰ることがないので

その細やかで滑らかな中音域。透明で濁りのない空間の広がりや、休符を体で感じられる静けさの再現性。その音質は同価格帯の他社製品を大きく超え、AIRBOW上級モデルSA10 Ultimateに迫るほど素晴らしい仕上がりです。

Final Version 特別仕様

スペシャルコンプリートパッケージのみに取り付けしていたアルミ削り出しインシュレーター（レッグ）を標準装備といたします。

このレッグは、新発売されたmarantz SA-12 OSE・PM-12 OSEと同等です。

アルミ削り出しインシュレーター（レッグ）標準装備以外、改造箇所の追加、変更はございません。

marantz SA-12 OSE・PM-12 OSE との音質差について

すでにYouTubeでご案内しておりますように、marantz SA-12 OSE・PM-12 OSEは従来モデルから大幅な音質向上を果たしております。

「AIRBOW SA12 Master Final Version」「AIRBOW PM12 Master Final Version」は、AIRBOWの徹底的なカスタマイズに加えOSEと同等のレッグを装着することでOSE以上の音質に仕上がっております。

近日中に、新製品marantz SA-12 OSE・PM-12 OSE のAIRBOW Masterモデル（予価45万円・税別）の発売計画も予定しておりますが、実売価格が約10万円安い「AIRBOW SA12 Master Final Version」「AIRBOW PM12 Master Final Version」は、価格以上の音質を実現できる価値あるモデルだと自負しております。

すでに、「AIRBOW SA12 Master」「AIRBOW PM12 Master」をお持ちのお客様へ

Final Version搭載と同様のアルミ削り出しの専用レッグを特別に単品販売しております。

詳しくは、メールまたはお電話（TEL 06-6644-9101・営業時間 10:00～19:00）でお問い合わせ願います。

主な仕様

- アナログ出力: RCA(アンバランス)×1
- ヘッドホン出力: 標準ステレオ×1
- デジタル出力: RCA 同軸出力/TOS リンク出力×各1
- デジタル入力: RCA 同軸/TOS リンク×各1(192kHz/24bit)
- USB 入力
リア (TYPE-B) /PC 接続可能 (382kHz/32bit、DSD11.2MHz)※marantz 専用ドライバーをPCにインストールする必要があります。
リア (TYPE-A) /USB メモリー、iphone・iPod 接続対応
- 対応ディスク: CD/SACD、データCD/DVD 再生対応
- 消費電力: 47W (待機電力 0.3W 以下)
- 寸法/重量: 440(W)×123(H)×419(D)mm / 16.4 kg
- 仕上げ: ゴールドのみ
- 付属品: 高音質電源ケーブル AIRBOW KDK-OFC/2.0m

お薦め「純銀 RCA ケーブル」



AIRBOW MSU-Silver VT (0.95m・RCA・ペア)
希望小売価格 ¥38,000(税込)